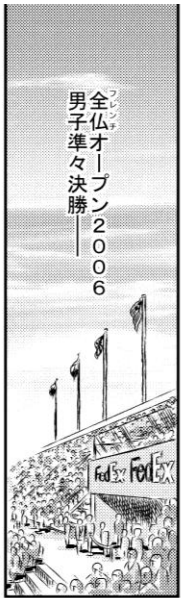


その後のグラウンドストロークの成長が著しく

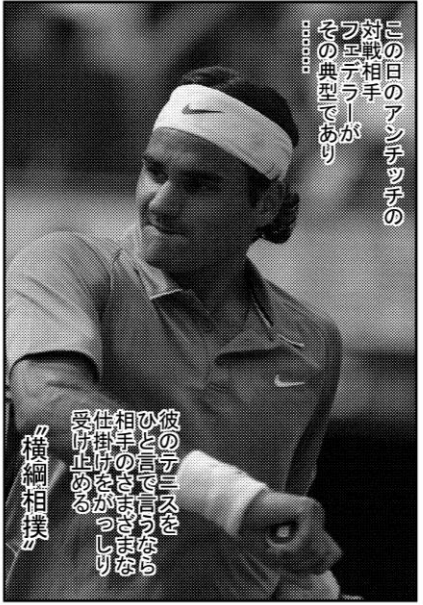
2004年のウィンブルドンでベスト4に上がったが線の細い感じがするプレイヤーだったが



アンチッチは全仏オープンの前哨戦であるハンブルク大会(クレーコート)でベスト4に入るなど好調を維持しつつこの大会に臨んだ



全仏オープン2006 男子準々決勝



この日のアンチッチの対戦相手フェデラーがその典型であり

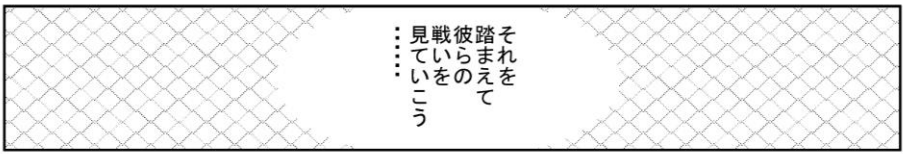
彼のテニスをひと目で言ったら相手のさまさまな仕掛けがっしり受止める



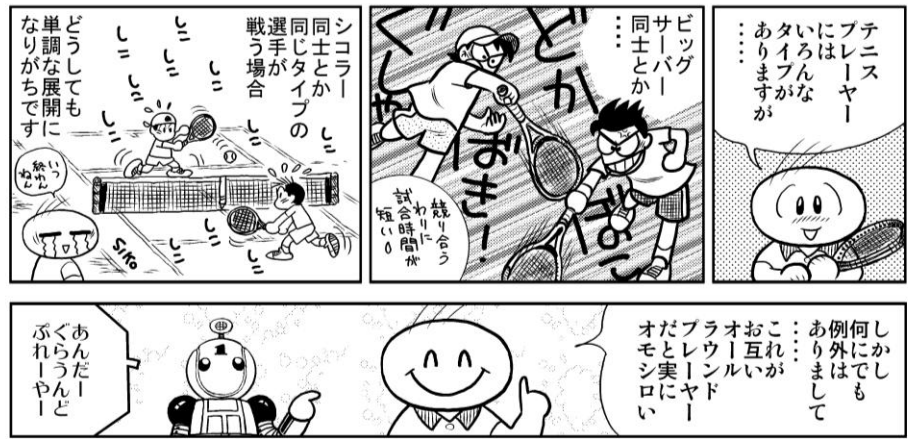
ロングラリーに耐えられるたくましさも身につけてオールドラウンダーとしての幅を広げている



優れたプレイヤーは相手がかうしてきたら自分がかうしてきたらこういう対応を組み合わせるといいう瞬時にできるという特長がある



それらを踏まえて見ていると



テニスプレイヤーにはいろんなタイプがありますが

ビッグサーパー同士とか

シコラー同士とか同じタイプの選手が戦う場合

あんなにぶくれやんごうい

おれがオールドラウンダーとモシロい

例外はありまして

しかし何でもありまして

これはお互い

オールドラウンダーとモシロい



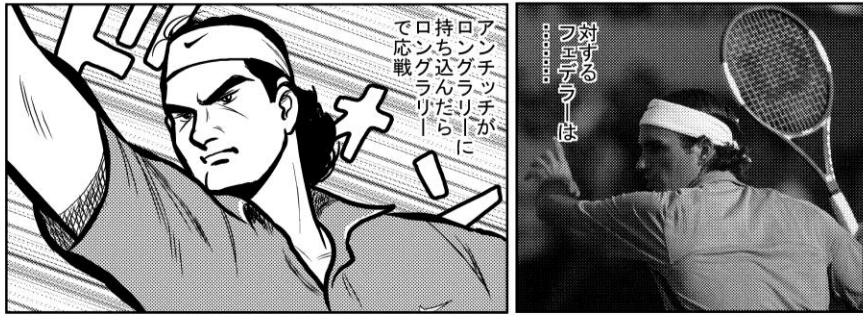
最近とみに実力をアップさせてきたアンチッチの試合を紹介しよう

ご存じフェデラーと

そこで今回は

ミニブルク

監修協力 ● 丸山 薫 漫画 ● 石川正順



アンチッチが
ロングラリーに
持ち込んだら
ロングラリー
で応戦

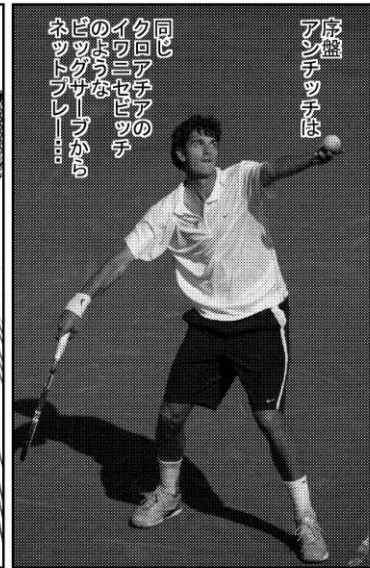
対する
フェデラーは



ハードヒットあり
スライスでネット
タッチありと
さまざま方法で
積極的に攻める



また
リターン
ゲームでは
フェデラーの
セカンドサーブを
徹底して攻撃...



同じ
クローチアの
イワセビッチ
のような
ピッチサーブから
ネットプレー...

麻
アンチッチは



第1ゲーム
で見せた
他のナスは
ウクロイナ
で底真の
プレーヤー
が
あつた
シヨット
で



特に...

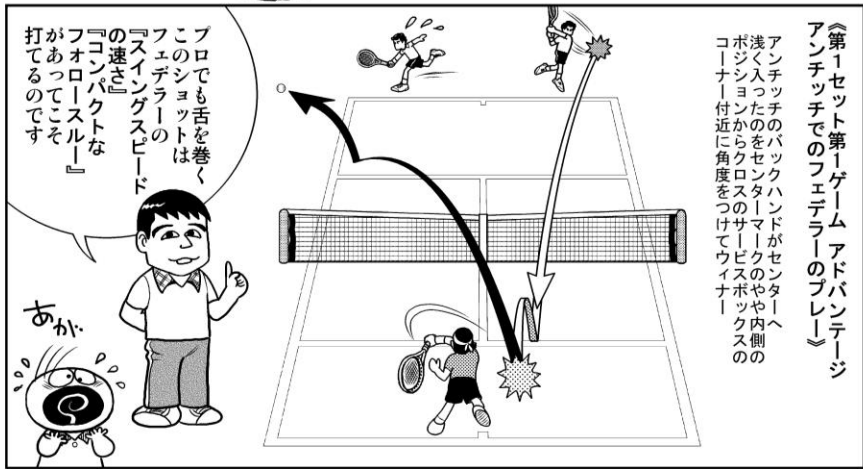


シヨット
仕掛けて
きたら
同じくシヨット
ラリーで
お返しを
するなど
状況に応じた
展開で
アンチッチの
攻撃に向かう



満
気
迫
り
う
た
い
た

フェデラーには
勝つためには
クレイコートに
出ていくぞ



プロでも舌を巻く
このシヨットは
フェデラーの
「スイングスピード
の速さ」
「コンパクトな
フォロースルー」
があつてこそ
打てるのです

《第1セット第1ゲームアドバンテージ
アンチッチでのフェデラーのプレー》
アンチッチのバックハンドがセンターへ
浅く入ったのをセンターマークのやや内側の
ポジションからクロスサーブボックスの
コーナー付近に角度をつけてウイナー



ストロークも
戦になっても
ドロップで
ウイナーを
取るなど
ブレイクの幅が
広がっており
ここ数年での
成長の跡が
見られるのである



それだけ
ではない

7 6 2 4 6
5 4 6 6 4

4回戦のロブレド戦でファイナルまでつれた影響がでしよたね

第2セット21でアンチッチはインジュリータイムを取り肩のマッサージを受ける

優れた勝負師は相手のわずかな隙も見逃さない

アンチッチは現在では珍しくなったフォアのドライブでラインへの

アプローチを放つてからスマッシュを決めるなどして王者と互角に渡り合う

《第1セット第8ゲームアドバンテージアンチッチでのプレー》

- ① アンチッチのセカンドサーブがワイドへ
- ② フェデラーのクロスへのスライスリターンを回り込みフォアで逆クロスへ
- ③ フェデラーのバックが浅くなったのをアンチッチはフォアハンドスライスでネットへ
- ④ センターに戻ろうとしたフェデラー逆をつかれてロブを上げる
- ⑤ スマッシュ

ド カ!

アンチッチの武器であるサーブマシンをかける

肩の不調を見て取ったフェデラーはセカンドサーブが少しでも甘くならぬハードヒット!

しかし

フェデラーもラリーの中にスライスを入れ始めチェンジ・オブ・ベースである

《第2セット第6ゲーム15・30でのプレー》

- ① アンチッチのセカンドサーブをフェデラーは回り込んで逆クロスヘリターン
- ② 角度をつけたアンチッチはクロスへ返す
- ③ フェデラーはバックの高い打点でダウンサーブに押し込む

「相手が少しも弱みを見れば一気呵成に攻め込む」この勝負の鉄則をフェデラーは第2セットも6・3で奪う

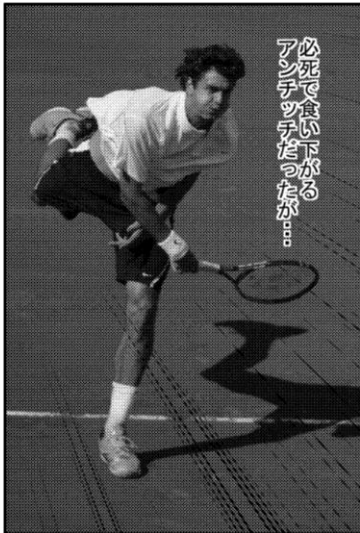
お互いに同じリズムで繰り返してしまえば調子が上がります

それ崩すために「スツ」と力を抜くのが彼すね

速球のあのスライク?

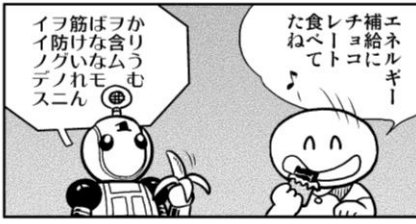
あー

第1セットは6・4フェデラー



必死で食い下がる
アンチテッチだっただが...

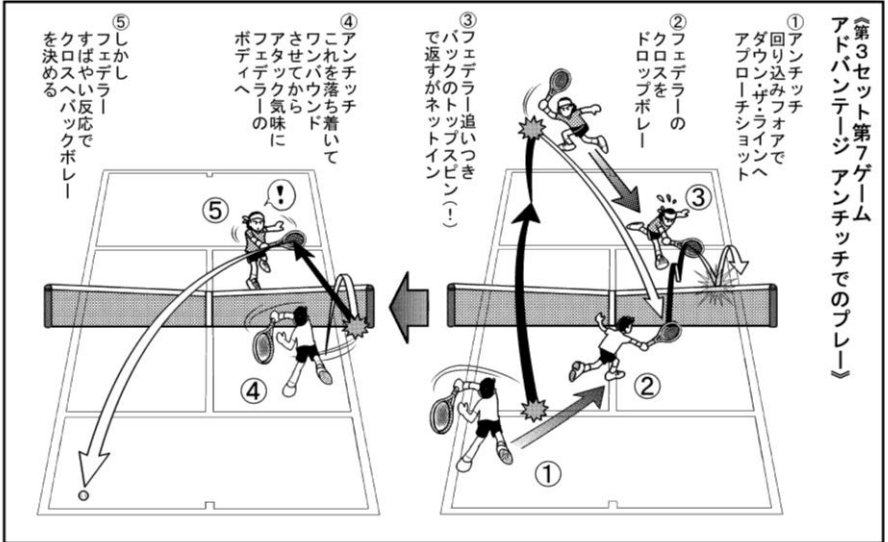
第3セット
お互いキープを続けて
3-2となったところで
またもトレーナーを
呼び...



エネルギー
補給に
チョコ
食べて
たね
かきうむ
筋力なれ
防いれ
イニス
デスニ



それでも
3-3となり
耐え続ける
アンチテッチに
対して
フェデラーは
彼なら
ではの
究極の
リラクゼー
ション
とも言
べき
プレーを
見せ
て
くれました



このような
状況では
少力が入
ってると
コントロール
ができません

リラクゼー
ション
こと
反
応も
でき
ず
コントロール
も
つ
く
わ
け
で
す

かちかち

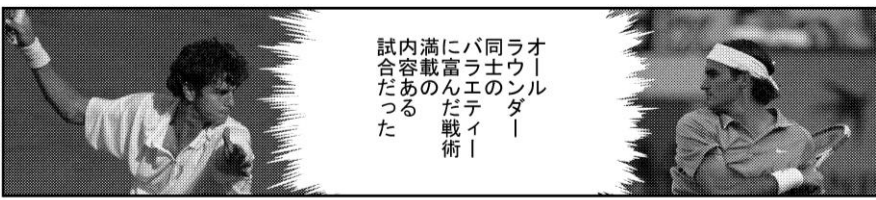
第9ゲームを
ブレイクされ
.....

アンチテッチの
粘りも
これまで



6-4
6-3
6-4
フェデラー
勝利!

スコア上は
フェデラーの
堂々たる
横綱相撲での
ストレート勝ち
であったが...



オールド
ラウンダー
同士の
パラエティ
に富んだ戦術
満載の
内容ある
試合だった



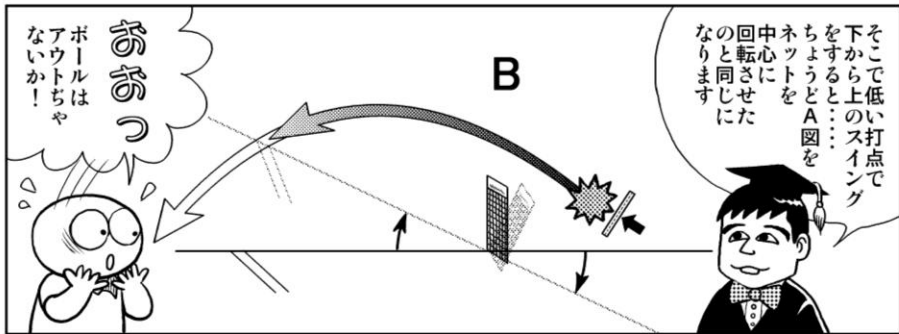
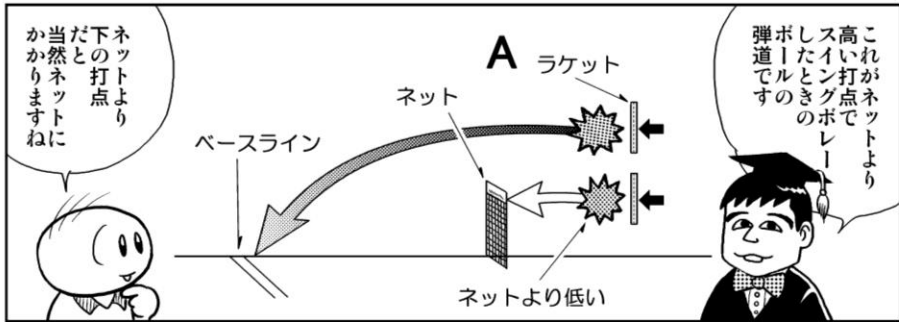
彼のこれからが
非常に期待できる
一戦であった



敗れはしたが
アンチテッチは
現在のトップ
選手中では
10
いちばん
と丸山薫
は語る



大きな
ケガさ
なけれ
ば5
トッ
プ5
に入
れな
い
思
い
ま
す



お山董の
どらいふ
スバツと解決このあ

